



## NPO PTPL “ともいき” 便り No. 206

令和3年（2021年）12月22日発行

■ 冬至（とうじ） 令和3年12月22日から令和4年1月4日までの節気  
ひんやりと寒い日が続いています。皆さま、お元気でいらっしゃいますか。  
二十四節気では12月22日から「冬至」の節気に入ります。この節気の間  
新しい年を迎えます。2022年、とら年。ちなみに、夫と孫娘がとら年です。節分  
の豆まきは二人に任せたいと思います。

冬至の日は太陽が最も低くなるので、昼が一番短く、夜が一番長くなります。  
そして翌日から陽が少しずつ長くなっていくことから、「太陽復活」と言って、  
人々は喜び、祝いました。日本ではこの日に南京（かぼちゃ）を食べると一年  
間、風邪をひかないと言われていています。さらに南京（なんきん）のように「ん」  
のつくものを食べると「ん」と「運」をかけて運が寄ってくるそうです。大根、  
人参、銀杏、レンコン……。我が家の小さな庭には、14歳になった孫が生まれ  
た時に植えたキンカンが、やっと実をつけています。もったいなくて、食べら  
れません。

先日、ある大学の社会人講座で「お正月の記憶」について語り合いました。  
参加したのは25人ほどで主に幼児教育にたずさわっている方々です。オンライ  
ンなので、地方からの参加者もいらして、とても楽しい時間でした。

例えば、栃木には、「しもつかれ」という行事食があるそうです。子どもの頃、  
お正月の終わった後に食べたそうですが、見た目もイマイチだし、まずいし、  
おまけに、なくなるまで食べ続けるそうで、「食べるのが苦痛だった」と言っ  
ていました。どんな行事食なのだろうと、農林水産省ホームページの「うちの郷  
土料理」で検索してみたら……ありました！説明を抜粋してみますと、「栃木県  
を中心に、北関東一帯に伝わる稲荷信仰の煮物料理。塩鮭の頭、炒り大豆、粗  
くおろした大根、酢の組み合わせ。正月の残りの塩鮭の頭、節分の炒り大豆の  
残り、おにおろしで粗くおろした大根、にんじん、油揚げ、昆布、酒粕を大鍋  
に入れて醤油、味噌、砂糖で調味して煮込む」。鎌倉時代より食されていたよう

です。「正月の残りの塩鮭の頭」「節分の炒り大豆の残り」というように、「残り物」を無駄にせず食べる、という素晴らしいお料理だと思います。一度、食べてみたいですね。

また、どこの県の方が忘れてしまったのですが、元旦は家長がまず外に出なければいけなくて、家長が出ないうちは新聞を取りに行くこともできないそうです。ですから前日遅くまでお酒を飲んで、まだ眠っている家長を起こし、みんな外に出したのだそうです。なんか、おかしい話ですが、その家では毎年恒例の元旦の儀式だったそうです。子どもたちは、年末年始と人がたくさん来て、ワイワイ賑やかに餅つきしたり、料理食べたり、お喋りしたり、とにかくわいわい楽しかった記憶があると話してくれました。それぞれの地域に、それぞれの家庭に伝承されているお正月の迎え方、祝い方があるんですね。

皆さまのお正月の記憶を伺いたいです。

お正月は、新しい年を迎えるにあたり、去年のことはリセットして、希望あふれる良い年になるようにと願います。お正月飾りは年末につけますが、元々は、稲藁をぐるりと巻いた簡単なものだったそうです。そこに縁起物をいろいろとつけるようになったそうです。

例えば「橙：代々家が栄える」「扇：末広がり縁起が良い」「稲穂：豊作を願って」「杉葉：寿命が長く神聖な木で縁起が良い」「紙垂（しで）：紙を四角に切って垂らしたもので稲穂が垂れた形」「ゆずり葉：新しい葉が出てから古い葉が落ちるため一家繁栄の縁起物」「裏白：葉の裏が白いことから、夫婦がともに白髪まで生きるように」などなど。

我が家は、大量の紅白の水引をぐるりと巻いただけの簡単なものです。シンプルですが、清々しく神聖な雰囲気醸し出してくれています。

2022年の恵方は北北西。来年も自宅から北北西の方向にある神社に初詣に行く予定です。皆さまも、いかがですか。

来年が、皆さまにとって幸せな年になりますように。

2022年最初の満月は1月18日（火）です。お月さま、見られるといいですね。来年もよろしく願いいたします。

すとうあさえ（NPOPTPL 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

冬至に思うこと

- 冬至の日は、黄道上春分点の西方 90 度、太陽黄経が 270 度の点に達する時で、太陽は赤道以南の南半球の最も遠い点に行くため、北半球では、太陽の高さが一年中で最も低くなります。そのため昼が一年中で一番短く、夜が最も長くなる極点となります。この日を境に次第に昼間が長くなって光と熱を増してきます。
- 陰極まれば陽萌すというように、冬至は一陽来復の日として、未来への希望をつなぐ日とされてきました。この日から日脚は少しずつ伸びてゆくのですが、暦の上で冬至は冬の間中点、つまり冬中であり、冬至の 15 日間を過ぎて小寒、大寒。一年で最も寒い一ヶ月が訪れます。つまり、寒い冬のはじまりだということで、むしろ寒さは厳しくなり、本格的な冬はこれからです。
- 今年も新型コロナウイルスに明け、暮れる一年となりました。さらに、世界各国で異常な気象が続き、甚大な被害と尊い命が奪われました。いまこそ、日本人の自然への畏怖畏敬の念を再考することが SDGs を日本がリーダーシップをもって推進する原動力になると信じています。
- 一日一回、“ともいき暦”を。  
現行カレンダーの日付の流れに添い、自然のリズムを尊重した回帰循環する時間の価値観をお楽しみください。  
“ともいき暦”は 21 世紀を生きる人々の生活の知恵です。

## 日本 2021 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。

日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

## ■事務局便り

この号が今年最後の便りになります。

今年も多くの方々にご支援、ご協力をいただき、この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

ともいき暦 2022 年度版も更新しました。来年も、是非、一日一回「ともいき暦」をご覧くださいければ幸いです。

最後に、来年も皆さま方にとって良い年になるよう願っています。

## ●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2021>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」ともいきチャンネル

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「ともいきチャンネル」[ともいきチャンネル - YouTube](#)

## ●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話：03-6432-5911      F A X：03-6432-5912      Email：info@ptpl.or.jp